

# 政務活動報告書

令和元年11月 5日

〔会派名： 喜働

川合 滋

代表者氏名	<del>足立 淑絵</del> 印	記録者氏名	足立 淑絵 印
活動者氏名	川合 滋 足立 淑絵		
活動日	令和元年8月22日(木) ~ 令和元年8月23日(金)		
活動先	・雲南市立病院：島根県雲南市大東町飯田96番地1 ・島根県教育委員会：島根県松江市殿町1 ・一般財団法人 地域・教育魅力化プラットフォーム ：島根県松江市母衣町83-5 母衣町ビル3F		
活動目的	・雲南市立病院：『公立病院経営と人材確保・育成及び地域ケア科』 ・島根県教育委員会：『県立高校魅力化ビジョン』 ・一般財団法人 地域・教育魅力化プラットフォーム： 『持続可能な地域・社会をつくる意思ある若者の育成』		



★雲南市立病院：『公立病院経営と人材確保・育成及び地域ケア科』

○沿革の歴史

- ・昭和23年 島根県農業会が岡山大学医学部の指導のもと「雲南共存病院」(50床)設立
- ・昭和45年 救急指定病院
- ・平成元年 雲南共存病院から「公立雲南総合病院」へ名称変更
- ・平成14年 介護療養病床(48床)開設
- ・平成21年 地域医療人育成センター 開設
- ・平成26年 地域包括ケア病床(43床)開設
- ・平成31年 雲南市立病院附属掛合診療所 開設

○概要

☆病床数

- ・一般病床155床(感染症病床4床)
- ・地域包括ケア病床 48床
- ・回復期リハビリテーション病床 30床
- ・医療療養病床 48床

合計 281床

☆診療科

内科、小児科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科

※非常勤体制

脳神経外科、眼科、放射線科、麻酔科、精神科

合計 14科

☆職員数(臨時、パート、嘱託職員含む)

- ・常勤医師 25名
- ・看護職 184名  
(看護師156名、助産師10名、准看護師13名、保健師5名)
- ・その他 174名

合計 383名

○医師不足による地域の病院での「負のスパイラル」

平成16年度の新臨床研修制度の導入後、医師不足に陥る。

- ・当直業務の過酷度増す。
- ・疲弊した医師が開業または大病院に
- ・病院経営悪化 ⇒ 評判も悪化 ⇒ 来る医師はいない……。

## ○取り組んだこと

### (1) 「**地域に必要な医療人は、地域で生み育てる**」

- ・地域医療人育成センター  
研修医、医学生、高校生、中学生、小学生を対象に  
研修・実習・職場体験を積極的に実施・・・年間約150名
- ・雲南市地域卒推薦（島根大学 医学部）（看護部）有り。

### (2) 「**救急を断らない、なんでも診る。在宅医療の推進**」

- ・地域総合診療科、地域ケア科  
外科医が中心となり、診断だけでなく、専門医と連携し治療も行う。  
入院から在宅まで地域と連携し、地域包括ケアを推進
- ・在宅医療専門医習得1名

### ※在宅医療推進に対する関わり方

- ・在宅医療を底支えするよう病院機能を改変・強化
- ・病床数は現状維持
- ・急性期と慢性期の病床バランスを変える
- ・高度急性期機能も部分的に担う（急変時の対応）
- ・急性期、慢性期を繋ぐ機能（地域包括ケア病棟）

### (3) 「**地域に開かれ、地域に親しまれる病院づくり**」

出前講座：年100回開催（約2800名）医師は33回、薬剤師も人気。  
病院祭：年1回開催（約400名来場）  
Facebook：1730いいね

### (4) 「**地域住民による地域医療活動**」

- ・がんばれ雲南病院市民の会、病院ボランティアの会  
住民向け研修会、サンキューメッセージ、受診便利手帳作成  
車椅子介助、病院周辺整備、合同美化作業、院内行事参加

### (5) 「**人と地域の絆が生まれる**」

- ・NPO法人おっちラボ・地域自主組織  
次世代育成共同事業、交流する若手増加、広がる輪、体験活動共同実施、  
地域活動貢献

### (6) 「**行政の新たな仕組みからアプローチ**」

雲南市総合戦略～『人口の社会増』への挑戦

- ・市の施策との連携  
子育て世代の流出抑制と転入増を図る「定住基盤の整備」  
子育て環境の一層の充実、住まい施策の強化、仕事への支援

・チャレンジの連鎖

地域課題解決にチャレンジする「人材の育成・確保」

「子ども×若者×大人チャレンジ」の連鎖による持続可能なまちづくり

☆生き抜く力を育む子どもチャレンジ

小学生、中高生向けに「週末塾」を開催

☆地域の未来をつくる若者チャレンジ

若手人材を掘り起しネットワークする「幸雲南塾（大人版）」

☆地域自ら地域をつくる大人チャレンジ

地域住民で運営する商店「はたマーケット」

※さまざまな事業・活動が生まれた。

【起業】 7件

中間支援NPO法人、ペットグッズ商品化、カフェ開業、憩いの場（カフェ）、訪問看護ステーション、雲南市産品等のネット通販ショップ、多文化共生事業など

【家業承継】 3件

漬物店、養鶏業、クリーニング業

【その他活動】 多数

地域の図書館、ものづくりの魅力発信、弁当宅配業者と連携した高齢者見守り事業、地域のコシヒカリで酒造り、雲南医療体験ツアー、空き家をリノベーションしてシェアオフィス開設、子どもの自然体験、地域を語る集い、伝統文化保存、Iターンして病院へ就職、Iターンして就農

○地域医療 日本一をめざします。

- ・在宅医療後方支援病院としても活躍
- ・開業医の方と契約
- ・回復リハビリにも積極的に取り組む。
- ・回復期から慢性期へ病院の役割を定めた。

○地域ケア科

☆地域ケア科のビジョン

雲南市民が健康的な生活をし、自分らしい暮らしを最期まで送れること。

☆地域ケア科のミッション

1. 雲南市における在宅医療の質向上
2. 雲南市独自の地域包括ケアシステムの構築
3. 雲南市独自の多職種連携の推進
4. 雲南市での医療職教育体制の向上
5. 雲南市の医療従事者の学術的活動のサポート

## ◎所感◎

着目すべきところは、病院経営、地域医療の充実（地域ケア科含む）、人材の確保とモチベーションの上げ方と考えます。病院経営について本市との大きな違いは、採用される病院経営事務職員が病院専属であること。これは職員のプロ化に繋がると考えます。

次に地域医療の充実に市立病院内の地域ケア科の存在は大きいと考えます。地域包括ケアを成り立たせていくには、開業医、介護福祉施設、そして在宅医療を後方から支援する救急病院の存在が必要です。この連携が地域医療の充実に繋がります。大きな役割を果たす地域ケア科の設置は、これからの地方の病院には必須と考えます。

そして、病院長を中心とした職員の方の意識向上。『地域医療 日本一をめざします！』とビジョンを掲げることでモチベーションの上がり、前向きな取組ができる環境が整うと考えます。環境が整えば、おのずと共感する前向きな人材も集まってくる。非常に学ぶことの多かった視察となりました。

## ★島根県教育委員会：『県立高校魅力化ビジョン』

### ○経緯

- ・海士町の県立隠岐島前高校は、島前3町村唯一の高校
- ・平成9年は77人の入学者。平成20年には28人に激減
- ・平成20年 全学年1クラスになり、統廃合の危機
- ・高校の存続は、島の存続に直結する。島前3町村と県立高校が連携し、魅力的な高校づくりを推進
- ・平成22年から県の教育魅力化が始まる。

### ○国の動きと連動した県の動き

- ・高大接続改革実行プラン  
(高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革)
- ・学習指導要領の改訂  
(新しい時代に必要となる資質・能力の育成)
- ・2020年代の県立高校における教育の基本的な方向性と具体的な取組を示した「県立高校魅力化ビジョン」を策定  
(向こう10年間の「方向性」と前半5年間の「具体的な取組」)

### ○策定の方針

#### (1)新学習指導要領(2022年度実施)

- ・育成を目指す資質・能力「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」
- ・「社会に開かれた教育課程」を実施。よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る。

#### (2)島根県が目指す「教育の魅力化」:「生きる力」を育む。

## ○県立高校魅力化ビジョンの概要

### (1)「生きる力」を育む魅力ある高校と地域づくりの推進

- ・地域協働スクールの実現
- ・地域資源を活用した特色ある教育課程の構築
- ・多様な学びの保障
- ・「学びの成果」の捉え方・示し方の開発と学校評価の改善
- ・「しまね留学」の推進

### (2)生徒自らが選び、学び、夢を叶える高校づくりの推進

- ・「求める生徒像」の確立と入学者選抜方法の改善
- ・特色ある学科・コースの設置による主体的な学びの推進
- ・生徒の主体性が発揮される高校づくりの推進
- ・学びのセーフティネットの構築
- ・インクルーシブ教育システムの推進
- ・ICTを活用した授業改善の推進

### (3)将来を見通した教育環境の整備

- ・地域別の高校の在り方
- ・教員の働き方改革、教員の確保と育成

## ○学びの魅力

- ・人づくり：社会人になるまでの間の人づくり
- ・都会では受けられない教育
- ・勉強だけでなく「+α」の人間力
- ・5G、AIなど、世の中の変化に対応できる子を創っていく。
- ・飽和していないからこそ、やれる空間がある。

## ○学びの連続性

縦の連続性 **幼児 IN**  
**小学校 ABOUT**  
**中学校 FOR**  
**高校 WITH**      と横（地域）との繋がり

## ◎所感◎

行政は基本的に縦割り社会のため情報の共有が難しく、物事が前に進みにくい傾向にあると日頃から感じています。特に教育に関しては、保育園や幼稚園・小学校・中学校までは**市**教育委員会の管轄であるが、高校に関しては**県**教育委員会管轄と違うため、高校卒業まで地元で切れ目のない子育て・教育支援について連携しにくい現状があります。しかし島根県海士町のように、町役場の教育委員会の中に県教育委員会担当（兼務でも可能）を置くことで、市と県がより太い繋がりを持って、切れ目ない教育施策に取り組めると感じました

★一般財団法人 地域・教育魅力化プラットフォーム：

『持続可能な地域・社会をつくる意思ある若者の育成』

○設立背景

- ・東京都生まれ、学生時代にアジア・アフリカ20ヶ国の地域開発の現場を巡った岩本悠氏の存在が大きく関係する。
- ・平成19年 海士町で隠岐島前高校を中心とする人づくりによるまちづくりを岩本悠氏が実践
- ・「日本を立て直す100人（朝日新聞出版・AERA）」に岩本悠氏が選出
- ・プロジェクトは第一回プラチナ大賞（総務大臣賞）などを受賞
- ・平成27年 島根県教育庁と島根県地域振興部を兼務し、教育による地域創生に従事
- ・平成28年9月 島根県教育魅力化特命官の岩本悠氏が（公財）日本財団主催のソーシャルイノベーターコンテストにおいて、最優秀賞を受賞
- ・日本財団から3年間（H29年～H31年）で、3億円の事業資金を支援
- ・平成29年3月 一般財団法人 地域・教育魅力化プラットフォームを設立

○経営理念と目的、戦略など

☆目的

- ・持続可能な地域・社会をつくる若者の育成
  - －地域社会に開かれた教育プログラムの開発・展開
  - －学校・教育を核とした地方創生に向けたチーム・人づくり
  - －都市部からの地方留学・教育移住等の新たな人の流れの創出
  - －全国規模の共学共創するプラットフォームの構築・運営など

☆ビジョン

①我々の使命

生き抜く力を育む魅力ある教育環境を展開し、未来を創る「意思ある若者」に持続可能な地域・社会をつくる。

②育てたい若者像

「もっと学びたい」という学び続ける意欲と「未来を自分たちの手で創る」意思ある18歳

③創りたい地域像

子どもが憧れる「意思ある大人」に溢れ、「意思ある人の還流」が生まれる魅力ある地域

④目指したい未来像

持続可能な社会づくりを牽引する「課題解決先進国 NIPPON」

☆大切にするスタンス

①主体性

現場の意志をなにより尊重し、それぞれの持ち味が十二分に発揮されるかけがえのない一助となる。

## ②協働性

本音の対話を通して多様な主体と協働し、チームとして新たな価値の共創に挑戦する。

## ③学び続ける姿勢

よりよい未来に向けて自ら開き、共に進化成長し続ける。

☆重点支援領域 ～現場の取組がより持続的に進化するための支援アプローチ～

### ①意志あるチーム育成

共通ビジョンと持つ地域・学校・行政等のセクターを超えた協働チームの育成を支援

### ②社会に開かれた教育環境

社会に開かれたチーム学校作りを促進し、地域社会の資源（人・もの・金・智恵など）と教育の接合を支援

### ③プロジェクト学習

地域社会の課題を自ら見つけ、多様な人々と協働して挑戦する課題発見解決型学習の推進を支援

### ④越境と多文化協働

越境留学を促進し、地方・都市・海外など多様な文化や価値観との交流や協働を通して学べる環境作りを支援

☆展開戦略

～「あそこだから（できる）問題」を超え、取組が展開されていくための戦略～

### ①勘・経験・感覚の3K ⇒ **価値の見える化**

子どもたちの変化成長や地域社会に与えるインパクトの評価・見える化を支援し、より広い共感と持続的な参画を促進する。

### ②各地域の個別支援 ⇒ **共学共創のフラットホーム**

地域をまたいだ全国規模のフラットホームを育て、相互学習や協働・共創を生み出し続ける。

### ③現場の実践任せ ⇒ **県・国一体のシステムチェンジ**

現場の取組を促進する県レベルの総合的な改革と国の地方創生及び教育改革を結合し、日本全体のシステムチェンジを創出する。

## ◎所感◎

『日本の教育を変える』という大きな志をもち、風の人（地域外のコーディネーター）と地域調整の地元の人がタッグを組むことで実現した教育の魅力化であると感じました。地域を変えるのは、やはり『よそもの、若者、ばか者（総して風の人）』であり、その風を人の想いを実現していくために必要なのは、風を人の想いを理解し共感してくれるプラス思考の地元の調整役であると感じました。